令和６年度 学校評価報告書

丹波篠山市立　今田小学校

1　学校教育目標等

ふるさと今田を愛し、やさしく、たくましい、生き生き今田っ子を育む
～今田が大好き！楽しい今田小学校をみんなでつくろう～

2　今年度の重点目標

「学ぶ」　　… 自ら学び、対話でつながる学びを
「整える」　… 学びに向かう姿勢・環境を整える
「つながる」… つながりを大切にする豊かな心を育む

3　学校自己評価結果

（達成状況…Ａ：よく達成できた　Ｂ：達成できた　Ｃ：やや課題が残る　Ｄ：改善を要する）

分　野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学ぶ （学習指導）	特別支援教育の充実	A	職員会議や委員会等で、学級や児童について共通理解し、ユニバーサルデザインを意識して取り入れることができた。 サポートファイル、個別の指導計画を活用し、本人・保護者との共通理解のもと、きめ細かなアセスメントを行い、必要に応じて見直しを行いながら、個に応じた指導内容や方法を工夫した。
	見通しが持てる授業づくりと家庭学習への支援	A	ゴールを明確にした授業づくりを常に意識し、一つ一つ学力を積み重ねることで児童の生き生きとした態度につながっていた。 研究テーマが変わっても対話のある授業づくりを意識していきたい。 読書貯金通帳など、今あるものを利用して、普段の読書だけでなく、夏休みや冬休みにも利用するなど、読書の習慣がつくようにしたい。
	情報教育の推進	C	情報通信技術支援員とともに授業に取り組んだ。学年に応じてクロームブックを使った指導を進めることができた。また学校での使用についてのルールは、全体で共有することができた。 情報機器の使い方について、家庭と連携することはあまりできなかった。使用だけでなく、スマホやタブレットも含めた情報モラル等についても、連携していきたい。
整える （生活習慣・環境づくり）	学びに向かう姿勢の確立	A	教職員から元気よくあいさつしたり、児童会のあいさつ運動を行ったりするなど、積極的な働きかけができた。 朝会での集まり等、時間を守って生活する働きかけや声かけができた。今後も教職員間で共通理解を図り、継続した指導を行う。 整理整頓については、学級や委員会活動での声かけなどをするなど手立てが必要である。学級全体で、整理整頓する機会を設け、そこから個人としてもできるようにつなげていきたい。
	安全安心で学びに集中できる環境づくり	B	毎月の校内安全点検後には、気になる箇所への対応が速やかにできた。学校設備の安全は、児童だけでなく教職員、保護者、地域の方等のすべての安全につながると認識し、今後も継続していきたい。 廊下や階段を歩くことを学級や朝会で指導するとともに、職員が足並みをそろえ、指導できるようにしていきた

			い。
	姿勢を整える力の育み	A	体育の学習や体育的行事において児童の運動量の確保、体力・運動能力の向上に努めることができた。 自分の心と体の安全も大切だが、自分の行動によっては周囲の人を危険にさらすことにもなるという予測ができる児童に育てていきたい。
つながる（地域とともにある学校づくり・生徒指導）	ふるさと学習の推進	A	学年に応じて地域と関わり、積極的な体験をし、地域を知り地域に関心を寄せる取組ができた。 学習発表会をはじめ様々な機会を通して、学びの成果を発揮し、児童自らが今田の良さをふりかえる機会となった。
	道徳教育・人権教育の充実	A	異学年間では、下学年に優しく接する児童が多い。このようなよさを生かす場面を多く設定したい。 全ての教職員が教育活動全体を通じて、基本的なルールを守ることやみんなが気持ちよくなる行動することなど児童の道徳性を養えるように指導する。 児童の長所を褒め、頑張りや成長を認め、自尊感情や自己有用感を高めていきたい。
	生徒指導における協働体制の確立	B	職員会議での児童理解、職員打合せ、生活アンケートの共通理解など、頻繁に職員間で共通理解する機会を持ち、未然防止、早期発見、早期対応に努めてきた。 未然防止を第一と考え、学級や縦割り班での活動や委員会活動、クラブ活動などを活用し、温かい人間関係づくりを積極的に支援していく。

4　学校関係者評価結果

（１）重点目標についての評価

・学校教育目標や重点目標は、わかりやすい言葉を使って表現されているので、大変理解しやすく、また想像しやすいのでよい。

（２）総合的な評価（意見・感想）

・子どもたちが元気よく学校へ登校できているのは、とてもよいことである。先生方がよく子どもを見て、子どもにあった指導をしていただいている。
・あいさつをしてくれる子が増えてきている。地域で元気のよい声が聞こえるのは大変嬉しい。今後もあいさつやコミュニケーションをとれる子が増えていくように指導していただきたい。

（３）学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分　野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学ぶ（学習指導）	・読書を楽しむ子が減ってきているように思うが、先生方の読み聞かせや図書委員会の活動、図書館との連携など、工夫した取組をされている。 ・家庭での情報機器の使用については、使用方法や使用時間等の家庭のルールづくりをはじめ、今後も大きな課題として継続する問題である。
整える（生活習慣・環境づくり）	・整理整頓ができるという割合が児童アンケートも保護者アンケートも低い。きちんと整理整頓をし、物をなくさない、物を大切にする子どもたちをそだてていってほしい。
つながる（地域とともにある学校づくり・生徒指導）	・ふるさと今田を大切にした活動をしていただいている。今年は、食育もされ、さらに広く楽しい学習をされたことがよくわかった。 ・自分のよいところがわかる子どもが減っているのは残念に思う。「認める・ほめる・励ます」を継続し、子どもたちの自己肯定感を高めてほしい。